

# あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 188 平成26年4月1日

熊本県立図書館発行

## “レファレンスサービス”ってなに？

・ 図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

### Q. おたずね

図書館の裏を流れる川は「藻器堀川<sup>しょうけぼりがわ</sup>」とかいてある地図や「加勢川<sup>かせがわ</sup>」とかいてある地図があります。どこから名前が変わるのですか。



### A. こたえ

川の名前は本流と支流、上流と下流などで名前が変わりますね。川をたどっていくと、川の名前の標識が変わったりして、面白いですね。

お調べの図書館の裏を流れる川は、水前寺公園からの湧水と藻器堀川の流れが合流して加勢川になり、江津湖に入り最後に緑川に合流します。

ではどこまでが「藻器堀川」であり、どこからが「加勢川」なのでしょう。地図に違った名前がのっているところを見ると、図書館の裏あたりから名前が変わっているのでしょうか。

熊本県河川課が出している「河川現況調書」によると、藻器堀川は下流端が「加勢川への合流点」、とあり、加勢川は「藻器堀川への合流点から」とあります。

その取り決めを官報で調べると、昭和41年3月28日号外に、加勢川の上流端が「熊本市出水町大字今字宮園四百七十八番地先の砂取橋」とあり、その後昭和47年4月26日の政令八十五号改正で、合流点の表記に変わっています。

では、加勢川の上流端「出水町大字の砂取橋」の場所はどこでしょうか。昭和41、47年のゼンソンの地図やその当時の電話番号などで番地をみると、現在は一見橋とは見えない市電がとおる広い道路と一体化した砂取橋が、電停「市立体育館前」のすぐそばにあります。ただ、橋の近くに川の合流点が2カ所あり、どちらがその合流点かわかりませんでした。

ここからは専門機関へ問い合わせとなります。熊本市東部土木センター河川課にお聞きしたところ、「国の取り決めでははっきり図面で示してなく、維持管理上は宮園橋から上流を藻器堀川、下流を加勢川としている」ということでした。

参考文献：「河川現況調書」平成20年 D517.2/ド/08 「くまもとの河川と海岸 2009」D517/ド/09 「日本地名大辞典 熊本」C290.3/カ 「ゼンソンの住宅地図 熊本市(S40年代)」C290.38/セ 「熊本局電話番号簿」C684.2/ニ 「法令データ提供システム e-Gov」 「官報データベース」 「官報」(昭和40年代)



お問い合わせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp

(裏面もあります。)